

修業生養成センターCFA の連携の手立て

<https://www.lapprenti.com/html/cfa/outils.asp>

職場体験による教育は、修業生、企業そして CFA の間での絶え間ない協調を前提としています。

3つの手段:

修業学習の指導手帳

指導手帳は養成の進展を修業生と責任者に詳細に紹介し、経過をたどることができるようにすべきです。

修業生にとっては企業内での実務の養成と CFA における理論の養成との間での関係に不可欠な支援を形成します。試験に向けて一層準備をすることができるようにします。

修業学習の教師と CFA の指導者にとって、指導手帳は各修業生の個人の成長に関心をもたせつつ、実務と理論の知識を統合ことが実現できるようになります。修業学習の視察官は企業を訪問したとき、あるいは修業生との面談すべての過程で指導手帳を示すように求めます。

関係の書類

州の計画で、大学区長の主導で実現されます(国民教育省)。

この書類は養成期間のあいだに修業生によって習得すべき能力が決められます。それは修業学習の教師が修業生の成長にもなって習得する専門的知識を定期的に評価することができます。

養成のコースにおける評価

修業学習の指導手帳と関係の書類は、養成コースで修業生の進歩とレベルを評価する手立てとなっています。

企業と CFA の連絡カード

企業と修業生養成センターとの間で往復することに充てられている連絡カードは、修業生がその働いている場所での観察を実施でき、その職人仕事のさまざまな側面を探求することが可能になる具体的な支援です。

このようにして、この連絡カードの利用は修業生がその独自の養成のもっとも可能性のある当事者になることができ、それが若者にとって職人仕事と、免状のあとで成長するような専門職の場所を見付けることができるでしょう。